



校報 徳田っ子

平成 29 年 10 月 25 日 (水)

第 12 号

矢巾町立徳田小学校



伝えたい…思いあふれる 学習発表会



4年ぶりに聞く徳丹太鼓。懐かしさで感動。

10月21日(土)、曇り空で少し肌寒い天候でしたが、今年度の学習発表会を無事開催することができました。

2学期に入り、約2カ月。9月は陸上記録会やマラソン大会という行事に向けて一人ひとりが目標を立て、その目標に向けて粘り強く取り組む月でしたが、今月は学習発表会に向けて集団としての力を高める月。劇や合唱などの表現に取り組む中で、自分、そして友達のよさや個性に気づき、認め合い、さらに協力して一つのものを作り上げることに喜びを感じ取らせたいという

願いをもって指導してきました。

18日(木)の校内発表会では、セリフの声が小さかったり、流れが途切れたりする場面も見られましたが、21日の発表会では、どの学年も校内発表会から1段も2段もレベルアップし、「最高の演技でみんなの頑張りを伝えよう」という児童会スローガンが達成された発表をご覧いただけただのではないかと考えています。お忙しい中、多くの方にご覧いただきありがとうございました。



命について考える劇。さすが最高学年。

新しいメンバーで たてわり班活動スタート



10月10日(火)、新しいメンバーによる顔合わせを行い、後期のたてわり班活動がスタートしました。

本校では、異年齢での活動を通して、好ましい人間関係を築くとともに、多様な人間関係能力の基礎を養うことをねらいにたてわり班活動を行っています。主な活動は、たてわり班清掃と定期的に昼休みに行うたてわり班遊びです。関係性の固定を避けるために、10月からメンバーを変更し新たな班編成で活動を再スタートします。

班長の6年生は、前期の活動を通して、指示の出し方や声のかけ方、アドバイスの仕方などリーダーとしての活動に慣れてきていますが、メンバーの個性をつかみきれず、まだ、試行錯誤しています。

とは言え、徳田っ子は働き者です。掃除は上手で、実に真面目に取り組めます。互いに徐々に慣れ、さらに遊びなども通して、リーダーシップやフォロワーシップを身に付けていってほしいと思います。

矢巾北中特設合唱部来校

10月16日(月)、矢巾北中学校の特設合唱部の2・3年生が、矢巾町の小中連携の活動の一環として、町音楽会に向けて練習に取り組んでいる4年生との合同練習会のため来校しました。

第69回全日本合唱コンクール全国大会へ出場する合唱部の歌声を聴くまたとない機会でもあるので、初めは4年生に加えて5・6年も参加し、全国レベルの合唱を鑑賞しました。

その後、合唱部が普段行っている基礎練習や4年生が音楽会で歌う「いのちの歌」のパート練習を一緒に行いました。密度の濃い内容を、短い時間にテンポよく、しかも明るい表情で行っていく合唱部員との合同練習は4年生にとって貴重な経験になりました。



明日は音楽会。この経験を活かして頑張れ4年生!

